

<学校の教育目標>

ふるさとを愛し、自ら学び、豊かな心を持ち、  
健康でたくましく生きる力をもつ 児童の育成



都城市立 縄瀬小学校 学校だより

「おはよう！」



平成28年

2月22日(月)

都城市読書感想文コンクール 縄瀬小が「優良校」に選ばれました！

縄跳び大会

平成28年2月13日(土)高城生涯学習センターにて都城市読書感想文コンクールの表彰式が行われました。本校からは2年生の馬場敦司君が銀賞に、同じく川野愛奈さんが佳作に選ばれました。さらに、出品数の多さや内容のよさ等から本校が優良校にも選ばれました。素晴らしいかったです。保護者の皆様方にも「家読の日」等でお力添えをいただいておりますし、図書館サポーターの江藤先生の働きかけ、先生方の指導・啓発等、様々な取組の賜と感謝しております。引き続き、家庭での読書タイムの確保をお願いいたします。(愛奈さんは都合で当日欠席でしたので、学校で表彰いたします。)



2月3日(水)体育館で縄跳び大会を行いました。これまで、昼休み時間や体育の授業時間を使って縄跳び運動に取り組んできました。大会では、一人一人の得意技の披露、名人の表彰等がありました。縄跳び運動は、筋力や持久力を高めるので、今後も継続して取り組んで欲しいと思います。



【優良賞の楯】



【黒木教育長から。馬場敦司君】

<3月の行事予定> 月目標「これまでの生活をふりかえって、次の学年の準備をしよう」

○ 見直しをしっかりとしよう。 ○ 気持ちのよい返事やあいさつをしよう。 ○ 「ちょこ・ぺた・びん・ぐー」をがんばろう。

- |                         |                              |
|-------------------------|------------------------------|
| 1日(火) 全校朝会、命の大切さを考える日   | 14日(月) 教育相談、卒業式練習(音楽)        |
| 3日(木) 卒業式練習、委員会活動(反省)   | 15日(火) 卒業式練習、すぎのこ倶楽部読み聞かせ    |
| 4日(金) お別れ遠足、児童集会        | 16日(水) たびだち給食(1・2・3年)、中学校卒業式 |
| 7日(月) 新登校班での登校開始        | 17日(木) 予行練習、たびだち給食(4・5年)     |
| 8日(火) 卒業式練習、読み聞かせ       | 19日(土) 保育園卒園式、21日(月) 春の例大祭   |
| 9日(水) 参観日、PTA 専門部会、学年部会 | 23日(水) 卒業式準備(火曜校時)           |
| 10日(木) クラブ活動(反省)、くれよん号  | 24日(木) 卒業式、給食なし              |
| 11日(金) 登校班長会、ボランティア大作戦  | 25日(金) 修了式、給食なし              |

心に残る出会い

縄瀬小 六年 森田泰清

僕の心に残る出会いは、上田さんという横谷地区の元公民館長さんとの出会いです。

上田さんは、毎日、館山の入り口付近で交通安全ボランティアの方と一緒にあいさつをしたり、見守ってくださったりしていました。「行つてらっしゃい。」と笑顔で話しかけてくださいました。僕達が遅くなったら「どうして遅くなったの。」と心配して事情を聞いてくださり、頼れる人だなあと思いました。

いつも元気だった上田さんが、昨年、突然亡くなられました。その日から館山の入り口は静かになってしまいました。上田さんともっといろいろな話をしたかったのに、残念でたまりませんでした。

でも、僕が代わりに声を出していかなくてはと、その日から元気なあいさつをがんばるようになりました。あいさつをして、返されたときはうれしです。上田さんとの出会いを通して、あいさつの大切さを学びました。これからも上田さんのようにいろいろな人にあいさつをしたり、声をかけたりしていきたいと思えます



泰清君の作文を読んで、校長先生もお元気な上田さんにお会いしたかったなと強く思いました。きつとみんなのことを大事に思ってください優しい方だったのでしょね。この作文を読んでくださった上田さんの奥様から「覚えてくれていてうれしかった。ありがとう。」というお礼のお電話をいただきました。

宮日新聞 平成二十八年二月八日 掲載



米作りたいけん

縄瀬小 三年 石黒さくや

十一月十五日今日はしゅうかくさいです。これからおもちつきをします。とても楽しみです。

これまで、たいけん学習をふりかえってみました。六月になえをうえました。なえは、ふ通のお米ともち米の二しゆるいんです。八月には草とりをしました。

十月二十日にいねかりをしました。米ができるまで、四ヶ月かかるとわかりました。お母さんから聞いた話では、ふ通の米ともち米とは、そだち方がちがうそうです。びっくりしました。

さいしよに、いねのかり方を教えてもらいました。左手でいねの根元をもって、右手でもったトゲトゲのカマでかります。やってみると、カマが引つかかっとうまくかれませんので、どうしたら、よく切れるのかを考えながら切りました。

米作りのたいけん学習を通して、たくさんの方々にお世話になりました。ありがとうございました。



さくやくんが、たいけん学習の中で、いろいろなことを考えたり、学んだりしていることがしつかりわかりました。らいねんどのたいけん学習では、さらに新しいことを発見して学んでいくことでしょう。校長先生は、さくやくんの、目の付けどころやちしきがほうふなことにいつも感心させられています。

宮日新聞 平成二十七年十一月二十四日 掲載

